

ブロックされたページバイパスの使用時に証明書エラーを解決する

内容

[はじめに](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[問題](#)

[解決方法](#)

[原因](#)

はじめに

このドキュメントでは、Cisco Umbrellaでブロックされたページのバイパス(PPB)を使用する場合に証明書エラーを解決する方法について説明します。

前提条件

要件

このドキュメントに関する固有の要件はありません。

使用するコンポーネント

このドキュメントの情報は、Cisco Umbrellaに基づくものです。

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されました。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、クリアな（デフォルト）設定で作業を開始しています。本稼働中のネットワークでは、各コマンドによって起こる可能性がある影響を十分確認してください。

問題

ブロックページバイパスを使用している場合、HTTPS/HSTS証明書エラーが発生する可能性があります。

解決方法

バイパスされたブロックページの内容が正しく表示されるようにするには、[シスコルートCA](#)を追加してください。

原因

これは正しく、予期された動作です。「ブロックされたページをバイパス」を使用すると、Umbrellaのサーバは転送プロキシとして機能し、認証されたユーザだけがドメインにアクセスできるようにします。UmbrellaがDNS応答を変更した場合、ネットワーク上のすべてのユーザがリソースにアクセスできます。

HTTPS証明書エラーは、このメカニズムが原因です。Umbrellaは実際に接続しようとしているドメインを装うことができないため、ブラウザは証明書が宛先と一致しないことを通知するだけです。これは通常、特定のWebサイトを使用する機能に影響を与えません。

翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。